

サービック本社に対して緊急申し入れ！

新大阪第一事業所

「自宅待機外し」をやめろ！

「課題の提出」はやめろ！

「竹腰所長」「山崎科長」は謝罪しろ！

6月18日、J R 東海労新幹線関西地本は、関西新幹線サービック（サービック）に対して緊急申し入れを行いました。

6月4日、地本はサービックとの団交において、第一事業所の竹腰所長と山崎係長の恣意的な思惑による「自宅待機外し」が行われていることを問題にしました。第一事業所では、サービックの中では唯一、自宅待機者に対して課題を課せていますが、竹腰所長と山崎科長は課題未提出者に対して、自宅待機から出勤に勤務を変更しています。

竹腰所長は「課題を提出していない人には自宅待機をさせるな」、山崎係長は「自宅待機でやるべきことをやっていないから別の人に自宅待機をさせる」と言っています。

地本は団交において、第一事業所の竹腰所長と山崎科長による「自宅待機外し」について本社を追及しました。しかし、本社は「第三者を経由して聞いたことには回答できない」といった対応でした。地本は本社に対して、第一事業所の竹腰所長と山崎科長の言動等の実態を把握し、二人に対して注意・指導をするように求めました。

しかし、団交以降18日に至るまで「自宅待機外し」は続いています。極めて遺憾であり許しがたい事態であるため、地本は以下のように緊急申し入れを行いました。

1. ただちに特定の人に対する自宅待機外しを解消すること。
2. 第一事業所だけがやらせている「課題の提出」をやめること。
3. 6月24日までに労使協議の場を設定すること。
4. 第一事業所の竹腰所長と山崎係長の「自宅待機外し」の言動等についての事態を把握し、謝罪させること。